

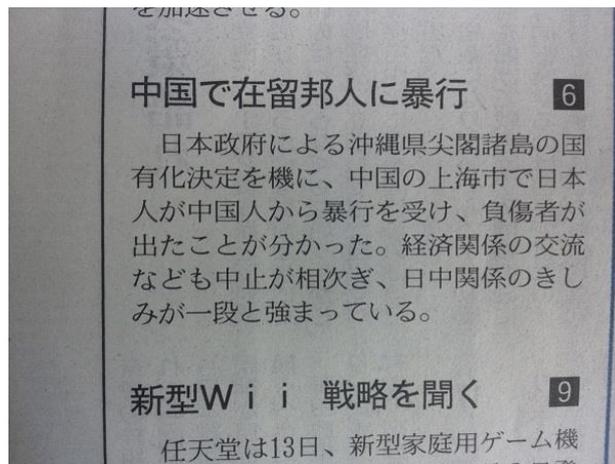
## 世界を知り尽くした 岡村龍哉

### 岡村 龍哉の宝石・健康紀行「中国」編 (2012)

広島空港から 中国 上海 の上海浦東空港へ辿り着くのに 2 時間 20 分を要した。機内でシャンパン 2 杯と青島ビールを飲み、上機嫌に到着した。迎えのリムジンに乗り込みいつもの宿泊先ウエスティン上海へ向かった。



機内の日本経済新聞の記事を見て、少し警戒心を持った。なるべく 中国語を話そうと決めた。尖閣諸島の問題（もちろん日本固有の領土だが）は、ビジネスの世界にも大きく影響する。



世界人口 68.6 億人中 13.5 億の民の結集、 **中華人民共和国** (面積：9, 602, 716Km<sup>2</sup>, 人口：約 134575 万人) は日本と紛争が絶えない隣国だ。  
**上海** (約 1870 万人) は、 **首都の北京** (約 1755 万人) を凌ぐ中国一の商業都市であり、直轄都市でもある。日本と上海 (中国全土) の時差は、 **マイナス1時間**。つまり、広島が 14：00 の時に上海は 13：00 だ。



今回の上海訪問の目的は、2013年開催予定の上海での第3回目のジュエリー展示会の打ち合わせの為だ。日本のJOクリスマスフェア2012の準備があるので、慌ただしいスケジュールでの訪問だ。

上海の夜は豪華絢爛。日本のような節電ブームは無い（JOのBig-Boardも時流に合わせて照明を消している。看板設置料金が無駄かも知れない・・・）アンティークビル群のライトアップやレインボーカラー（ジュエリー流で言えばアミュレットカラー）の光が街を包む。日本では味わうことのできない空間だ。



タキシードに身を包み高級料理を堪能しよう！



上海では、世界の一流料理が味わえる。  
(食べきったところで撮影してしまった・・・高級料理が・・・)



ちなみに、**中国** は、**56** の民族が暮らす多民族国家だ。その内、**漢民族** が **90%** を占めている。漢民族以外の少数民族は露骨な区別（差別？）を受けている。漢民族のプライドは非常に高い。日本人の中国人のイメージはこの漢民族に当てはまるような気がする。『昨日より今日、今日より**明日**が **Happy** と信じる。』**明治人気質の大阪系広島県人の岡村 龍哉**は、pure なビジネスパーソンなので、人種・宗教・信条などは問わずにビジネスを行う。この **Tatsuya Okamura** スタイルが海外でのビジネス成功の鍵だと思う。



余談だが、中国国内の言語は**北京語**・**広東語**・**上海語**・**福建語**の 4 大言語に大別され方言も多くある。日本の標準語にあたるのが北京語だ。

さあ、北京語で勝負だ！

しかしながら、国際都市の上海、外国人が多い。やはり、英語が活躍する・・・



打ち合わせ中の食事はこんな感じだ。相手方負担の場合は・・・



日本で生活をしていると、「日本経済は停滞していて中国経済は成長している。」という印象を持ち易い。しかしながら、中国を含めた BRICs（ブラジル・ロシア・インド・中国）の経済成長率の減速は鮮明だ。失業率も高く不満を抱いている中国人は多い。失政批判の矛先を逸らそうと尖閣諸島などを持ち出して誤魔化そうとしているとも勘繰ってしまう。

事実、不動産市場の調整の影響が想定よりも大きかった点を勘案し、2012 年の実質 GDP 成長率予想を 8.2%から 8.0%に、2013 年は 8.7%から 8.5%に下方修正している。



長時間の打ち合わせは本当に疲れる。(相手が相手だけに・・・)  
少し都会のオアシスで一休み。



今日は打ち合わせがないので、[上海海洋水族館 \(Shanghai Ocean Aquarium\)](#)へ



東方明珠電視塔の東側に位置しアジア最大級の規模を誇る水族館。館内は中国・アマゾン（南米）・アフリカ・南極・北極・深海・オーストラリア・東南アジア・海&岸の9つのゾーンに分かれ、四大陸、五大洋からの約300種1万匹以上の珍しい海洋生物が展示されている。見所は世界最長となる約155mの海底鑑賞トンネル。サメやウミガメが目前を優雅に泳ぐ様は圧巻だ。





ちなみに、入場料は大人 **160 元**だ。中国の物価を考えると少し高め。しかし休日ということもあり大混雑。やはり、人気のスポットだ。

余談だが、入場料は背の高さで決めるようだ。（身長 100cm 以下は無料）

入館料 160 元 = 約 2,000 円



『明るく・元気に・爽やかに』がモットーの岡村龍哉は水族館が大好きだ！  
今日は遊び疲れたので、明日は一日ホテルでゆったりと滞在しよう。



さて、お待ちかねのショッピングだ！

上海商城 のリテール・プラザへ。3フロアからなり高級ブティックや特色ある店舗が並んでいる。上海商城は上海で最も有名なショッピング街でもあり南京路に位置し、エレガントな雰囲気の中ワールドクラスの店舗にてショッピングが楽しめる。

やはり、興味を引くのはジュエリー！ 株式会社 JO のコアブランド  
Jewelry Okamura のブランド向上には探究心が欠かせない。

Okamura Tatsuya の信条の1つ『ビジネスの中に遊びがあり、遊びの中にビジネスがある。』この信条で会社設立以降 18 年間過ごしてきた。



目に飛び込んできたのは鮮やかなクンツァイトだ！



ここで、シンプルに 『スポデューメン・クンツァイト』 を説明しよう。

正式名を **SPODUMENE KUNZITE** （日本名：**リチア輝石**，化学成分： $\text{LiAlSi}_2\text{O}_6$ （ケイ酸塩鉱物），宝石言葉：**安定・平安・無限の愛**）と呼び、モース硬度（押し込み強度）は、**6.5~7.5** である。名前の由来は、アメリカの宝石学者 **ジョージ・F・クンツ** の名にちなんでいる。彼が **1902 年**にこの

宝石を発見したからだ。

纏わる **物語** としては、その純粋なパワーは様々な物を浄化する力があると言われ、その無限の愛のパワーは全てのものに対し向けられる慈愛の精神であり、愛し愛される人間になるように導く石だと信じられている。古代**ギリシア人**がこよなく愛した宝石ともされている。

**JO** では、良質なブラジル産のみを取り扱っている。ちなみに、『**スポデューメン**』と呼ばれる宝石は、ピンクカラーが“**クンツァイト**”であり、緑色系のものは“**ヒデナイト**”、黄色系のものは“**トリフェーン**”と呼ぶ。

余談だが、**岡村龍哉**が社会人となり、宝石商になって初めて購入して頂いたジュエリーは真珠ネックレスだが、外商でお買い求め頂いた最初のジュエリーはこの**クンツァイト**のリングだ。感慨深い逸品だ。アメリカのワシントンにある **スミソニアン博物館** に展示されている 880 カラット（1カラットは0.2グラム）の**クンツァイト**を見た時には感動した。



一仕事を終え、**上海カニ** を食した。かなり **小振り** だ。カニはタラバ蟹に限る。反面、**容易に崩れる絶品のフカヒレ** は最高だ。(日本は固まりになっているものが多い) これは、いつもの感想・・・



翌朝、私の愛車の1台とでくわした。(保有する3台は全てイギリス製)



翌日、**徐さん** が主催する **Party** へ参加。

なかなかバランスの良いパーティーで感心した。中国人は“**Hospitality**”が本当に上手だ。相手の懐に飛び込み自分の世界へ引き込む。見習いたいものだ。**岡村ユーモア**は万国共通でウケルが、上海の人達にも大ウケした。(自分だけがそう思っているのかも知れないが・・・)



このままでは遊び中心の **岡村龍哉の宝石紀行** になるので (いつもそうだが・・・)、真面目な話題も届けよう！

尖閣諸島などの政治課題ではなく、日本経済の元凶 『デフレ』 克服の為の考察をしよう。そう、**岡村龍哉の考え**だ！

2012年9月13日(木曜日)アメリカ連邦準備理事会(FRB)の **バーナンキ議長** は、連邦公開市場委員会(FOMC)終了後に記者会見を行い、所謂、QE3を発表した。

日本も追加対策が迫られている。私は3つの政策を同時に断行すべきだと思う。

- ① 日本銀行は基金の枠内で資産購入スピードを加速し着実に進める。
- ② 日本銀行の国債買い入れを3年から10年へ拡大する。
- ③ 日本銀行のインフレターゲットを明確に宣言し、ターゲット数値を1%から2%へ引き上げる。

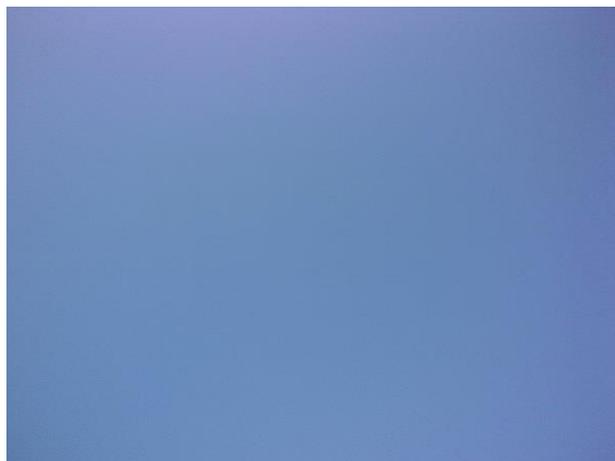
まずは、財政出動を伴わない(国民負担を生じさせない)政策を総動員すべきだ。

また、小出しではなく一気に果たすべきだ。

世界を知り尽くした **Jewelry Okamura** の岡村 **龍哉**の**宝石紀行**は本当に役立つ。

ビジネスだけではなく、人生哲学も織り込もう！

誤解を恐れず、大胆に申し上げると、日本と中国の『空』も一つに繋がっている。日本人と中国人がビジネスを進めると多少の困難はあるが“解”は必ず見付き、win-win relationship が成り立つ。国同士もそう願いたい。



リーダーは **理想追求型** と **現実対応型** に大別できる。

今回の滞在で、中国当局の現実対応型政治の限界を実感した。民意を把握できないばかりか乖離した動きには混乱を拍車させるだけだ。理念なきその場しのぎの対応では、中国社会の砂上の砦の瓦解を加速させ“矛盾”が一気に噴出した。後者の統治の末路だ。

『全体最適』と『部分最適』のコンフリクト問題はリーダーの解決すべき大きなタスクだ。そのタスクを果たすには **バランス感覚** と **寛容力** が必要だ。

もちろん、**岡村龍哉** は前者の理想追求型を志向する企業経営者だが、その意思と共に日々の自己啓発を怠りなくタスク達成に邁進します！

しかしながら・・・「いや～歩き疲れました～～」  
**運動不足の解消** もデフレ克服同様、急務と実感した。

